



# 新聞ごはん

第一3号

2005年6月

発行者

リトル・スター・レストラン

インターネット無線スポット



あります。

## 今年の梅酒 はじめります。

昨日

年六月、お店で仕込んだ梅酒が、いよいよ出番を迎えます。一昨年に漬けた梅酒がちょうど完売となりつつあるのです。

リトル・スター・レストランの梅酒は季間をかけた自信作。農園から直接取り寄せた青々とした梅に、ひとつひとつ丁寧に竹串で穴を開け、旨味が十分にお酒に染み渡るようにしています。それを本格麦焼酎で漬け込みます。今年お出しきるのは、梅酒用に作られた本格麦焼酎で漬けた「スタンダード梅酒」、  
熟成させた旨味の濃い焼酎で漬けた「本格梅酒」の二種類。どちらも梅の香りと酸味の生きた、どこにもないオリジナル梅酒になります。

また、新しく「コーヒー焼酎」も始めました。当店自慢のオリジナルブレンドのコーヒー焼酎に漬け込んで作っています。香ばしいコーヒーの香りと、深くコクのある苦みと旨味をお楽しみ下さい。(麻)

「毎月新聞ごはん」は、リトル・スター・レストランが発行している新聞です。



## 小星人語

「梅雨」は「五月雨(さみだれ)」と同じ意味です。梅の実の黄熟する頃に降り続く雨なので「梅雨」。旧暦の五月に降り続ける雨だから「五月雨」。「五月雨」の方がかの「古今集」以来使われてきました雅語で、「梅雨」はいわゆる俗語なのです▼「走り梅雨」とは梅雨入り前に見られる、梅雨を思わせる天候のこと。「迎え梅雨」とも言いますが、そうして梅

雨入り宣言が出ると、とたんに晴れの日が始まっています▼そうして雨が少なく、名ばかりの梅雨になると「空梅雨(からつゆ)」と呼ばれることがあります。それはそれで困ったもので、農作物や真夏の給水のことを考えると梅雨にもうっかりして欲しいものです▼ざーっと降ってはさッと止むことを繰り返す、メリハリのきいた明快な梅雨を「男梅雨」、シットシットと長く降り続くじょやかな梅雨を「女梅雨」と呼ぶのですが、今は逆のイメージも多いのではないでしょうか▼そうして雷とともに降ってひときわ激しく降る雨が続くと「送り梅雨」ですが、今は逆のイメージも多いのではないでしょか▼そうして雷とともに降ってひときわ激しく降る雨が続くと「送り梅雨」で、梅雨も終わりに近づきます。この雨が止む頃には夏到来ということになります▼ちなみに梅雨が明けたと思ったのに、なぜかまた雨が何日か降り続くという現象があります▼梅雨は暑い夏の前の、心と体の準備の時期。そう考える微妙な風情のある時期だとも感じられます。今日も「雨ニモ負ケズ」のご来店をお待ちしております。(麻)

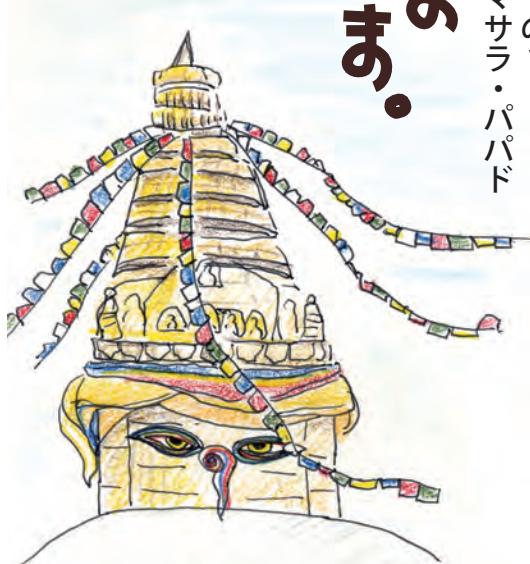
ネ

パール・カトマンズを旅したのは、  
二〇〇一年の春。一週間の滞在中、  
毎日通った場所が一つありました。

一つはチベット最古の寺院といわれる「スワ  
ヤンブナート」。宿から歩いて片道四十分ほ  
どの道のり、丘を登り、さらに長い長い階段  
を上ると現れるストゥーパ（仏塔）に挨拶し、  
カトマンズの街を見下ろすのが日課でした。  
そして夕方になる頃、街に戻ります。入り口  
に下がった暖簾が開店の印。店内は地元の人  
らしき姿でいっぱいです。蒸し餃子「モモ」、  
チベット風うどん「トゥクバ」、そして毎日  
必ず注文したのが「マサラ・パパド」でした。

# 旅の うつま うつま。

その1  
マサラ・パパド



横のテーブルに座った地元の人が食べている  
のを指さし、「あれ、ちょうどい！」とやつ  
たのがはじまり。豆を挽いた粉で作ったス  
ナック「パパド」の上にトマトや玉ねぎ、  
小粒で激辛の唐辛子ピッキース、それに何か  
スペイスが混ざった真「マサラ」がたっぷ  
りとのっています。舌が痺れるほど辛いのに、  
なぜかおいしい。すっかり「マサラ・パパド」  
に、ビール「ジボルグ」の組み合わせが定番  
になりました。

毎日通ったこのお店の名前が Little Star  
Restaurant<sup>o</sup> 小さなチベット家庭料理店  
の名前は、忘れない名前になりました。  
(麻)

LSR Collection  
リトル・スター  
vol.01 マサラ・パパド

チ  
ベット料理「マサラ・パパド」  
を、当店風にアレンジ。豆を挽  
いて作ったスナック「パパド」の上に  
当店オリジナルカレー粉などのスパイ  
スで調味した「マサラ」をのせました。  
ぱりぱり、ビールのお供に最適！



# 句な話



梅雨のこの季節。空はぐんぐん暗く、雨がじょじょと降り続ける日々。湿度が高く、不快指数が高まることが間違いない。会社勤めをしていたころ、雨が降る日はほとんど完全武装でした。制服のない会社だったので、なるべく濡れたくはないませんでした。レインコート代わりに、暑くても薄手のコートを着て、靴には防水スプレーをかけ、鞄には必ずタオルを入れていました。それでも多少は濡れてしまい、混んだ電車の中を考さんと気がめいります。

梅雨に限らず、雨の日はあまり好きではありませんが、以前よりもうまい雨のとき含えるようになつた気がします。室内で本を読んだり、映画を観たり、音楽を聴いたりして過ごすとか。降っているのかわからないような小降りのときは、神経質にならないで傘をささずに歩くとか。道端や庭に咲いている花、草木が雨に打たれて瑞々しく輝いてるのに気づくとか。特に今は、曇り空に顔を出す太陽のように、紫陽花がきれいに咲いています。

雨が降らなければ、困ることもあります。空梅雨とか、雨不足は、農作物に影響を与

げない方からいただいたらしく、びっくりしました。また、記念にお配りした缶バッヂも好評で、差し上げるとその場でつけてくださるお客様や、後日来店時にかけてくださるお客様もいて、とてもうれしい思いました。

人からプレゼントをもらうとうれしいのは、モノをもらつたからといったそれだけではないと思います。そのプレゼントを人が、選ぶなり作るなりしてくれていたとき、その人が自分のことを思つてくれた、そのことがうれしいのです。

以前、ある人に言われました、「give and take」じゃない、「give and gift」なんだよ」と相手に何かをしてその見返りをもらおうとするのではなく、相手からもらつたものは贈り物なんだといふその考え方。最近のお店でも同じだなあと感じます。料理やサービスを提供して一番うれしいのは「ねいしかった」「わくわくした」と言うお客様の笑顔です。その笑顔が私たちにとって最高のギフトです。そんなことを思いながら、雨の降り続ける日々も、変わらず、お店を開けてお客様をお待ちしています(圭)

えのこ 飲み水を始めとする生活用水も不足してしまいます。天の恵みとも言ひますが、雨は、空から贈り物といえば、オープン1周年を迎えて、知人、友人、お客様へ、沢山の方にお祝いをいただきました。ありがとうございます。思い

しみは、人に静けさをまとわせる。けれど現実は否応なしに、騒音を伴いながら降りかかる。目をつむり、耳を閉じ、深い眠りに落ちていきたくとも、まるでそれが使命であるかのように降りかかる、雨のような現実。時に静かに、時に轟音と共に。静けさをまじった女探偵、ミロの初仕事。



『チップス先生さようなら』  
James Hilton 新潮社



『顔に降りかかる雨』  
桐野夏生 講談社

## hishima's choice



『ナラタージュ』  
島本理生 角川書店

## hishima's choice

宮崎圭子  
宮崎麻美  
yukio\_hishima

### ★今月のお題★

## 雨の匂いのする本

テーマに応じたお薦めの本を紹介する「本のソムリエ」。雨がシットシット降り続けるこの季節に似合つ、本のソムリエのおすすめ本は、

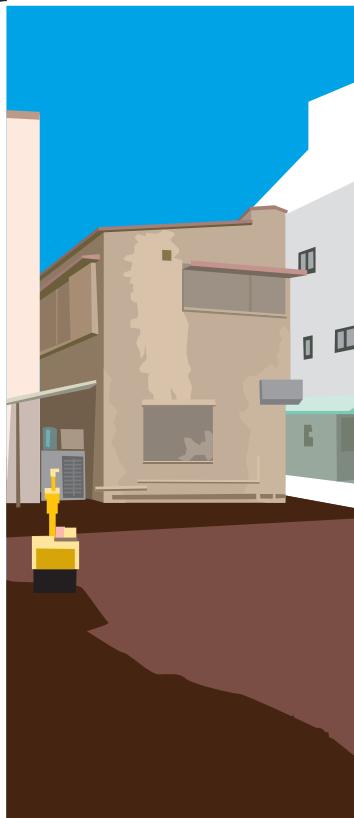
英國では一度は雨が降るというのも珍しくない。しかし、よくある雨は、空から雲に隠れてしまうことが多い。また、まだ始めた雨は、強くはない。皆、傘もささずにさつそろと歩いてゆく。緑の香が、いつそう濃くなり、町はじっと濡れていく。紅茶をすり、窓に降る雨を眺めながら、思い出にひたるひととき。



fukazawa's choice

はよく雨に出会い、しばかくじるほど、じんじんした雲に隠れてしまうことが多い。また、まだ始めた雨は、強くはない。皆、傘もささずにさつそろと歩いてゆく。緑の香が、いつそう濃くなり、町はじっと濡れていく。紅茶をすり、窓に降る雨を眺めながら、思い出にひたるひととき。

英國では一度は雨が降るというのも珍しくない。しかし、よくある雨は、空から雲に隠れてしまうことが多い。また、まだ始めた雨は、強くはない。皆、傘もささずにさつそろと歩いてゆく。緑の香が、いつそう濃くなり、町はじっと濡れていく。紅茶をすり、窓に降る雨を眺めながら、思い出にひたるひととき。



news & information  
リトル  
リトル  
ニュース  
Little Star Restaurant



葉、お花、プレゼントなどを頂戴しました。  
本当にありがとうございました。  
これからも心地よい空間と美味しいごはん  
をご用意できるようがんばりますので、二  
年目もどうぞよろしくお願いします！

## 「毎月新聞 ごはん」、 置いていただいてます。

三鷹ロンロンの「FLEUR やまもと」さん、南口中央通りの「古書上々堂」さん、さくら通りの「三鷹の森書店」さんに加えて、今月から吉祥寺通り、三鷹の森ジブリ美術館向かい、天然酵母のパン屋さん「コミュニティ・ベーカリー 風のすみか」さんにもこの小さな新聞を置いていただけることになりました。

ありがとうございます。



**Little Star Restaurant**  
リトルスター・レストラン/Mitaka, Tokyo

東京都三鷹市下連雀 3-33-6 三京ユニオンビル 3F  
Tel+Fax 0422-45-3331 e-mail info@little-star.ws

●定休日：毎週月曜日

PCでも携帯でも▶▶▶▶▶ <http://www.little-star.ws/>

■ 梅酒を漬けました。

毎年の一大イベント、来年お店でお出しするための梅酒を一日がかりで漬けました。梅雨直前、晴天に恵まれたので屋外での仕事になりました。梅を洗い、乾かし、梅に竹串で一つ一つ穴を空け…三十キロの梅が見事に瓶に收まりました。これで来年の六月頃まで、冷暗所に保存されることになります。どれだけの梅を迅速に漬けましたので来年の出来が楽しみです。

■ 「お店ができるまで」展  
お待たせしております。

やりますといつておまながら、お待たせしております。一周年記念特別展示、「リトル・スター・レストラン」が開店するまでの約半年を追った「お店ができるまで」展、近日スタートいたします。お楽しみに。

■ たくさんのお祝い、  
ありがとうございました。

六月一日はリトル・スター・レストランの開店一周年記念日だったわけですが、その記念にたくさんのお客様からお祝いのお祝いのお言葉を頂きました。

予告通り、プリニューフィールドの小さな新聞、おかげさまで今号から「風のすみか」さんにもおいでいただけたことがあります。少し印刷部数も増やして二年目スタート。いつも読んでいたいたてる皆さん、ありがとうございます。(お)

至 武蔵境 JR 三鷹駅 至 吉祥寺



●営業時間：11:30 ~ 24:00

(土日・祝祭日は12:00 開店/日祝祭日 23:00 閉店)

フード・ラストオーダー 23:00 (日祝祭日 22:00)

ドリンク・ラストオーダー 23:30 (日祝祭日 22:30)

